



算数教育～今年度は3年生担当～

2025 年度も昨年度に引き続き、算数を教えることになりました。学年は持ち上がりで3年生を教えることになりました。しかし、昨年度は1クラスでしたが、今年度はなんと3年生の全クラスである4クラスを担当することになりました。クラスによって雰囲気や学力に差があるのは、日本と同じようです。若い先生たちが担当の学年ということもあり、活気のある学年となっています。1学期に担任変更があり、4人のうち2人が新卒の教員が担任になっています。

① 【クラス紹介】

	【3A】 人数：約45名 元気いっぱいクラス	
	【3B】 人数：約35名 比較的落ち着いているクラス	
	【3C】 人数：約40名 新卒の教員＋勉強意欲高いクラス	
	【3D】 人数：約40名 新卒の教員＋一生懸命なクラス	

② 【算数教育における課題】

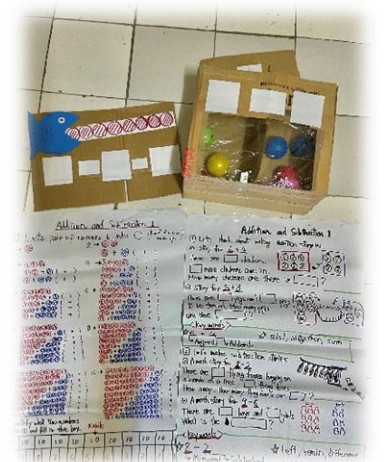
大きく分けて3つの問題があります。1つ目は学力の問題。彼らは今年3年生になるが、1桁と1桁の足し算や引き算につまずく児童が多くいました。「繰り上げ」や「繰り下げ」を要する計算になると、より多くの児童が混乱していました。時計が読めない、「10をつくる重要性」が分からない、指を使用したり線を書いたりして計算する児童がたくさんいます。みなさんはいつまで指を使って計算していたでしょうか。1, 2年生で習得するはずの計算能力やその他の技能が十分に備わっていない児童が多くいたため、1学期は1, 2年生の復習を主に行いました。2つ目は環境の問題。昨年度より一つの教室当たりの児童数は減り、1クラス40名ほどだが、それでも日本と比べて大人数で狭い教室、十分な机や椅子のない教室もある中で授業を行っている。もちろん、日本では個人で配布されるようなブロックもなく、数の概念を教えるときの視覚的支援がありません。以前書いた通り、JICAとPNG政府が作成支援を行っている国定教科書が本校には配布されて

いますが、数は不足しており、3～4人で共有する形をとっています。もちろん学校保管で個人で持ち帰ることはできず、何年も同じ教科書を使用するためボロボロになります。3つ目は教員の質の問題。3年生の担任の先生方は比較的若く、国定教科書の使い方を理解している教員が多いですが、多くの教員が教科書を効果的に使用することができていなかったり、そもそも使用せずに自分流で教えていたりしています。また、日本では当たり前に行われている問題演習と机間支援（個別支援）を行わず、「板書を写させるだけ」や「問題をやらせっぱなし」という状況があり、教員が児童の学力を的確に把握できていないように思えました。例えば、1桁足す1桁が理解できない児童に対して、2桁足す2桁で繰り上がりのある足し算の問題演習を出題するといったようなことです。これらの問題を解決できるように、様々なアプローチを試みました。

③ 【視覚的教材と机間支援】

皆さんが小学校で足し算や引き算を習ったときを思い出してください。いきなり、 $15 + 39$ ができたでしょうか。まずは数の概念から習ったと思います。日本では、当たり前のように使用されているブロックや教員が使用する教材もPNGにはありません。そのため、視覚的支援の不足で足し算や引き算を教えられてきた児童は、1桁の足し算や引き算すら苦戦します。そこで、私は“現地で手に入る物で作成”と“現地の教員でも簡単に作成&使用可能”をキーワードに視覚的教材を作成しました。具体物の使用による視覚的支援は、数の概念を捉えるのに大きく役立ちました。また、物を足したり引いたりする概念も、具体物を使うことで物の移動が目に見え、理解が深まった児童が多いようでした。

また、日本の教員が当たりまえのように行っている机間支援を行っている教員が非常に少ないのです。私の所属する学校の教員は比較的教壇に立って授業をしっかりと行う教員が多いですが、ある学校では黒板に授業内容を書いて、説明もせずに写させて終了…なんて教員もたくさんいるそうです。教壇に立って授業を行う教員ですら、机間支援を行う人はいません。問題演習の時間は、自分の席に座り、仕事をしていることが多いです。結果、児童が何につまずいているか、どんなところに困り感を抱えているかが分からずに、授業がどんどん進んでいくことになります。日本の教員が当たり前に行っていることも、他国では珍しいことであり、とても価値のあるものなのだと改めて知る機会になりました。自分の授業を通して、「視覚的教材」と「机間支援」の大切さとそのノウハウを教員の方々に伝えていくつもりです。次の号では、1学期の詳しい授業内容を紹介します。



【お知らせ】



教科書を“活かす”授業へ ポンデッタ小学校で教員研修を実施
(JICA PNGのHP記載)

https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2025/1567643_58033.html

『JICA 海外協力隊世界日記』

2つの内容について投稿しています。

[パプアニューギニア便り\(JICAパプアニューギニア事務所\)](#)

[JICA 海外協力隊の世界日記](#)

https://world-diary.jica.go.jp/JICA_PapuaNewGuinea/cat2567/post_22.php (ごみの町で考える、理科の授業のちから)



@bridge_png_jpn
(動画&写真見るなら、Instagramのアカウント)